

東部方面混成団創立記念行事見学ツアーに参加

神奈川地本第5期カレッジ防衛モニター 井上 美桜

今回はカレッジ防衛モニターになって初めての活動として、「東部方面混成団創立5周年記念行事見学ツアー」に参加した。

当日は暑いくらいの晴天の中、創立記念行事を見るために多くの人々が陸上自衛隊武山駐屯地を訪れていて、関心の高さがうかがわれた。

記念式典では、新隊員の訓練展示や模擬戦闘訓練が行われるなど見どころ満載で、初めて目にするものばかりでとても楽しく興味深かった。模擬戦闘訓練では、本物の戦車やヘリコプターの大きさに驚き、訓練の緊迫感を肌で感じる事ができた。また、新隊員の訓練展示では、4月に入隊した方々とはとても思えない迫力に圧倒され、自衛隊員としての誇りと覚悟が感じられた。

私は、今回初めてこのような自衛隊の記念行事に参加したが、駐屯地内では屋台が出店していたり、自衛隊特有のお土産が売っていたりして、とても活気があって開放的な雰囲気だったのが印象的だった。

また、新隊員は同年代か年下くらいかと思うが、自分と同じくらいの年齢の方々が日本を守るため日々訓練を受けていることを改めて知り、誇らしさを感じると同時に、自分も守っていただく立場として、失礼のないような人間に成長していきたいと思った。これからのカレッジモニターの活動がとても楽しみになった見学だった。

平塚地域事務所で勉強会

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、6月11日（土）、将来自衛隊の各種受験を希望している高校生・大学生等8名に対し「勉強会」を開いた。

この企画は昨年から、元教諭の募集相談員会長等の協力を得て実施しているもので、昨年も多くの合格を獲得し、その成果は大きい。今年度も事務所の要望に共感した募集相談員会長が「入隊を希望する若者に早い時期から勉強会を実施し、多くの合格者を輩出しよう」と、本人も所属する自衛隊を支援する「日本の将来を考える神奈川教師の集い」に呼びかけ実現した。

勉強会は過去の試験問題を参考に自分の不得意とする科目の問題を質問する形式で行った。

募集対象者の一人は「将来自衛隊に入隊し、国の防衛や国際平和協力活動など多種多様な任務で人々の役に立ちたい。今回勉強会を開催していただいて大変ありがたい。合格して皆さんの期待に応えたい」との声も聞かれた。

指導した教師は、「我々もこれまでの経験を活かし自衛隊に支援できることは大変嬉しい、今後も継続して協力したい」との話があった。

平塚地域事務所は、「今後も関係協力団体等の協力を得て、勉強会を継続し、志願する多くの若者の合格に寄与したい」としている。



勉強会風景